

令和3年度 グローバル・リーダー養成ワークショップ報告

高崎女子高等学校 探究部

7月30日（金）に、認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパンの広瀬太智さんを講師にお迎えし、グローバル・リーダー養成ワークショップを実施しました。1年生から3年生までの39名が参加し、様々な社会問題に目を向け、自分にできることを考えるプログラムを受講しました。コロナ禍での実施のため、オンラインによる受講でしたが、参加生徒からは、社会貢献にますます関心を持つことができ、自らアクションを起こしてみたいという感想が多数あがりました。

世界の現状を俯瞰して考えるワールドマップワーク	フリー・ザ・チルドレン設立の話
<p>ロープで世界地図を作り、大陸ごとの統計データ値（人口・GDP・消費された食物・リオ五輪メダル獲得・HIV）を各班で予想しました。（以下は生徒の声）</p> <p>「予想と実際の数値がとても違ったので驚いた。」 「メダル獲得数、人口、エイズなどの数値につながりがあるとは知らなかった。」</p> 	<p>フリー・ザ・チルドレンのミッション“国内外の貧困や差別から子どもをFreeに(解放)する”や“子どもには世界を変えられない”という考えから子どもをFreeに(解放)する”と、活動理念である“子どもや若者は助けられるだけの存在ではなく、自身が変化を起こす担い手である”についての説明を聞きました。12歳の少年が設立したことを知って、参加生徒たちも心を揺り動かされたようでした。</p> <p>※詳細は、フリー・ザ・チルドレンホームページをご覧ください。 https://ftcj.org/</p>
社会を変えるアクションを起こそう！	～参加生徒の声～
<p>社会を変えるアクションを具体的に考える際に、「自分の好きなこと・得意なこと(GIFT)」と「解決したい社会問題(ISSUE)」を組み合わせると、「<u>アクションのアイデア(CHANGE)</u>」を考え出しやすいことを体験しました。（以下は生徒の記入例）</p> <p>Aさん：イラスト＋人種差別 ＝人種差別をテーマとした物語を書く。</p> <p>Bさん：アイドル＋貧困問題 ＝CDを買うと募金ができる。</p> <p>Cさん：読書＋教育格差 ＝本を集めて貧困地域にミニ図書館設立。</p> 	<p>・高校生である自分も「子どもだから」と考えるのではなく、一歩踏み出すことが大切だと分かった。</p> <p>・児童労働という言葉は知っていたが、実際は思っていた以上に深刻で、かなりのショックを受けた。安い品物ばかり求めないようにしようと思った。</p> <p>・社会貢献は強い意志を持たないと成し遂げられないと思っていたが、気軽に自分の好きなことに関連付けてできるものなんだと分かり、社会貢献へのイメージが変わった。</p> <p>・GIFT＋ISSUE＝CHANGEのアイデアがどんどん思い浮かんだ。</p> 